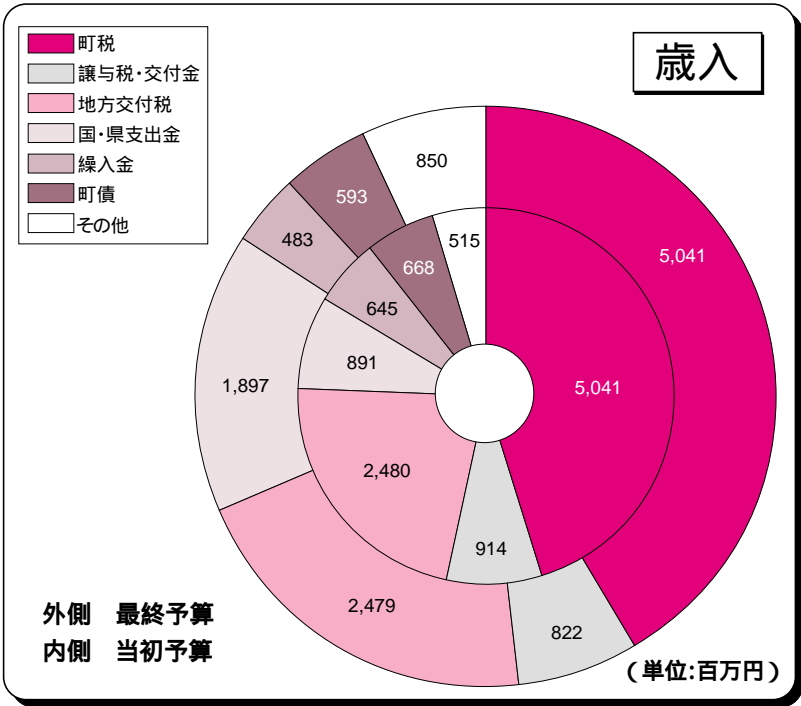
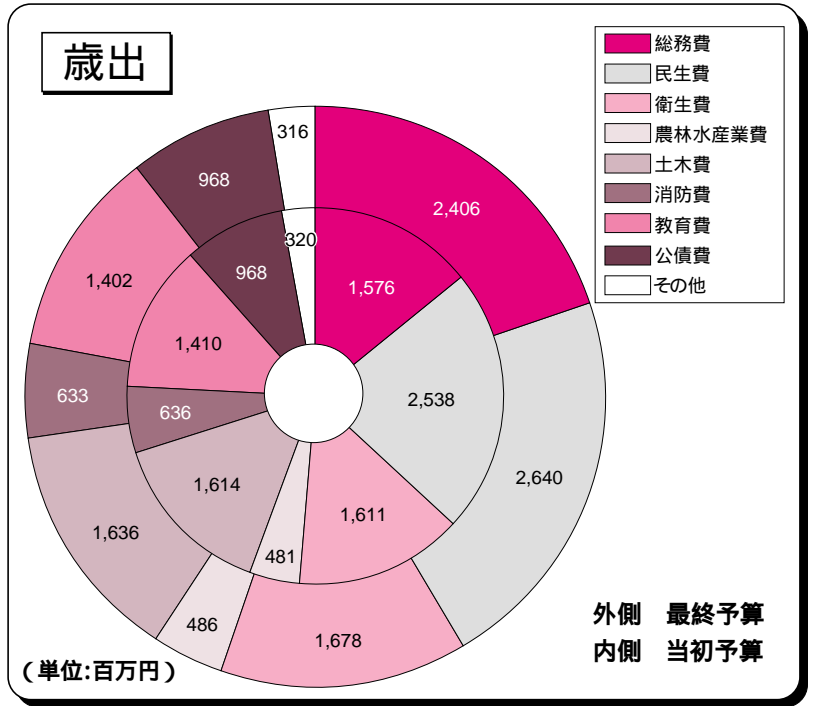


### 平成20年度一般会計最終予算

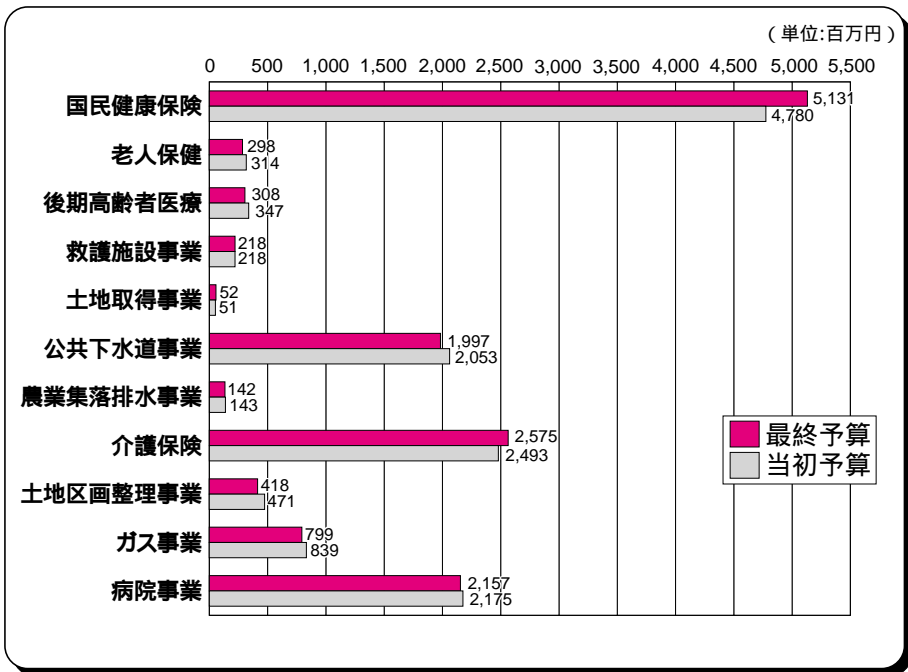
平成20年度においては、最終補正で定額給付金事業に係る予算を計上したため、歳入では国・県支出金、歳出では総務費が当初予算と比較し大幅に増額となっています。また、民生費についても扶助費の増加や子育て応援特別手当のため、当初予算編成時より1億円以上増加しています。



当初予算  
111億5,400万円  
最終予算  
121億6,460万円

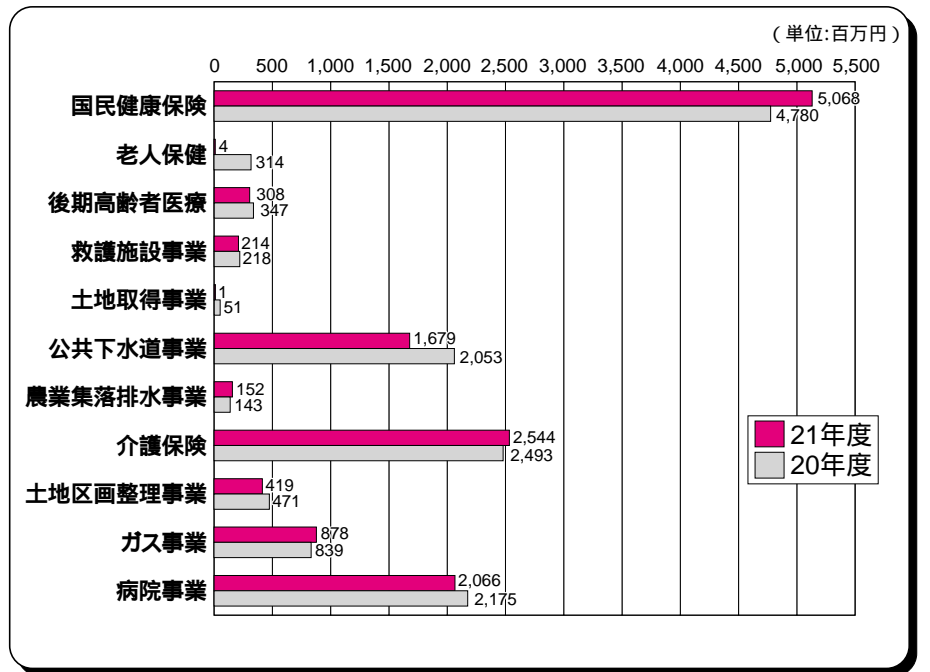


### 平成20年度【特別会計・企業会計】最終予算



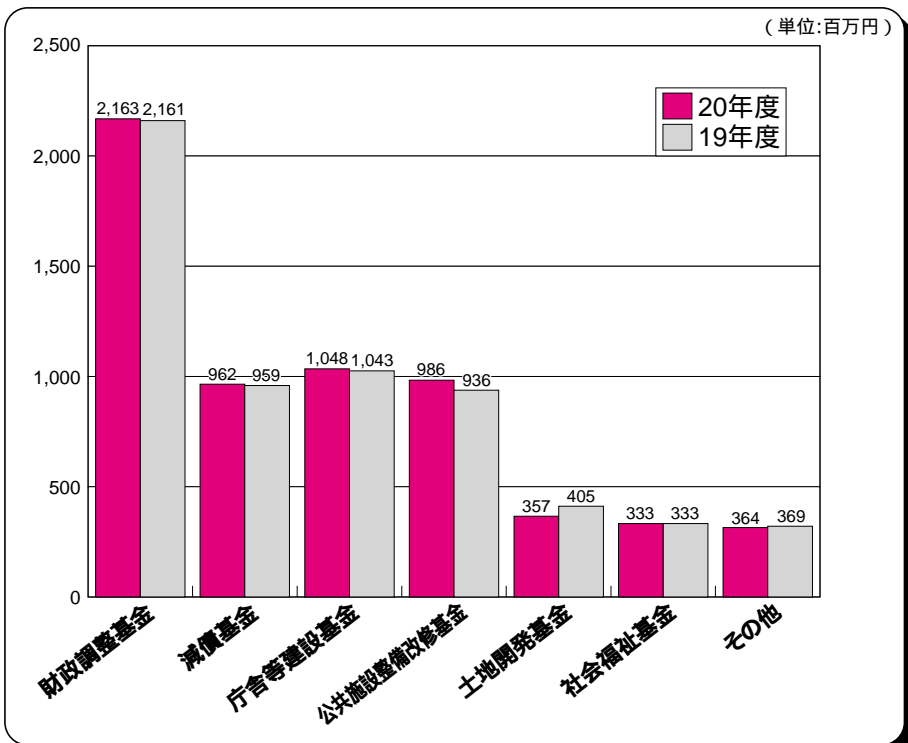
予算規模は、国民健康保険特別会計が保険給付費の増加により増となった一方、公共下水道事業特別会計が入札差金や不用額が生じたことにより減少しています。

### 平成21年度【特別会計・企業会計】予算の状況



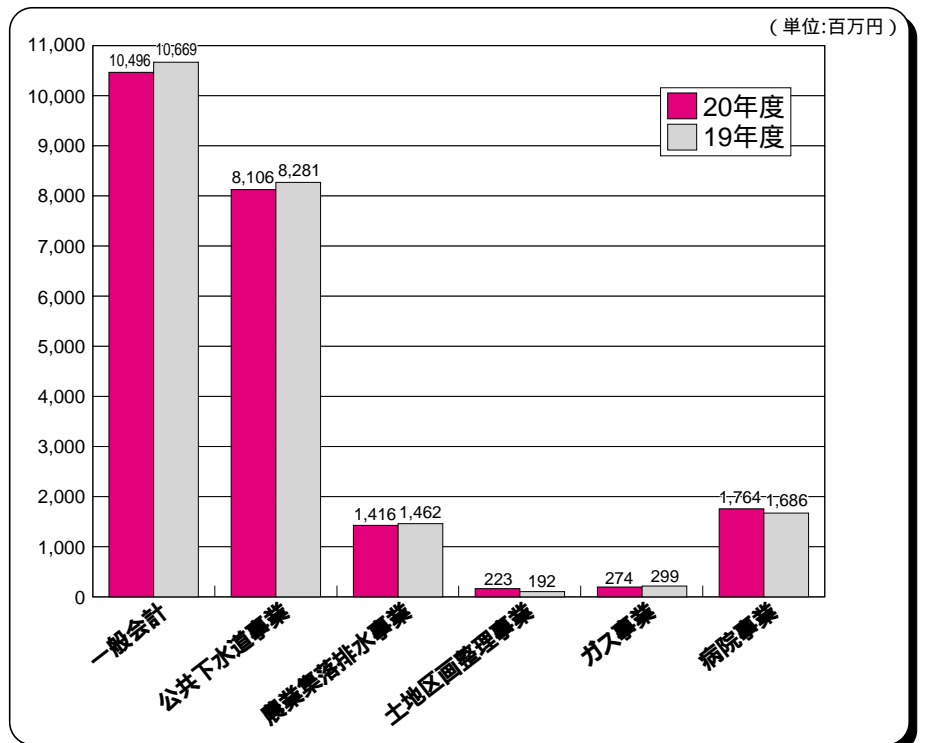
国民健康保険特別会計については、保険給付費の対前年度比10%以上の増が見込まれることから、予算総額が増額となっています。公共下水道事業特別会計については、公的資金補償金免除繰上償還額の減等により予算規模が縮小する見込みです。

### 基金現在高の状況



平成20年度末の基金現在高は、総額で約62億1,300万円と、約7百万円増える見込みです。財政調整基金については、平成20年度の取り崩し予定額と平成19年度歳計剰余金の積立額がほぼ同額となるため、現在高がほぼ横ばいとなっています。平成21年度は一般会計で約5億1,700万円の取り崩しを予定しています。

### 借入金現在高の状況



平成20年度末の借入金現在高は、普通建設事業の抑制等により、一般会計で約104億9,600万円（対前年度比約1億7,300万円減）、特別会計、企業会計合計で約117億8,300万円（対前年度比約1億3,700万円減）となる見込みです。平成21年度には一般会計で10億140万円、特別会計、企業会計合計で4億2,040万円（繰越分含み、借換債を除く）を借り入れる予定です。